

区医だより

発行●浪速区医師会 編集●広報部

巻 頭 言

猫と私

宇 田 創

(そうわ内科クリニック 院長)

一目ぼれを信じるだろうか。某CMでその一目ぼれ迷惑ですといわれそうだが、カブトムシを買いにペットショップに下の息子と行った時、一匹の白猫に一目ぼれをした。私は10代、20代と2匹ネコを飼った事があり、犬より猫派と自負している。しかし子供が産まれた時よりいつか犬を子供に飼ってあげたいと思っていた。これはさいとうたかを氏のゴルゴ13という漫画で『犬は赤ちゃんのときにより保護者として、幼年期により遊び相手として、少年期により理解者としてあり、青年期に自らの死をもって命の尊さを教えてくれる』という格言に影響されたからである。その為子供がもう少し責任感が持てるまで・興味がでるまでと考えて待っていたが、ついにその時がきた。シメシメと子犬を覗にいこうと誘っても、ケージから離れない。そのうち店員さんが「少しケージから出してみませんか」と声をかけてくる。ケージから解き放たれた子猫はあまりニャーニャー鳴く事もなく、膝の上でおとなしく抱かれている。「生まれて2ヶ月ですが、ラグドールというネコ種で初心者でも飼い易く、忍耐強い性格のため子供がいくら抱っこしたりしても適応してくれますよ。」と店員はどんどん声をかけてくる。「さあ、触れたし、他の動物を観

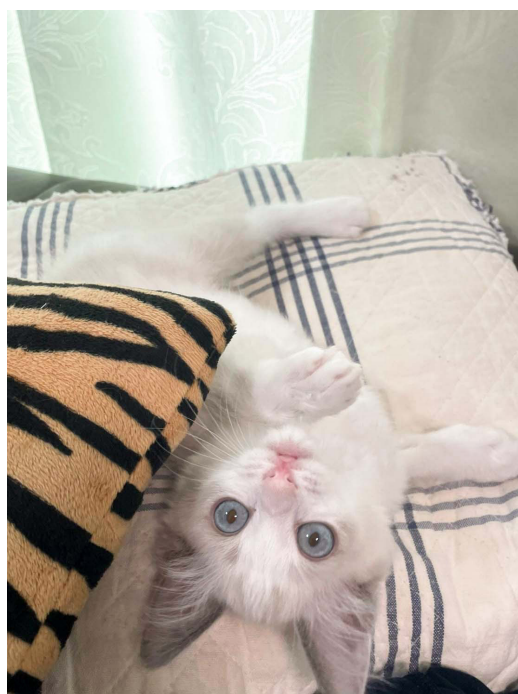
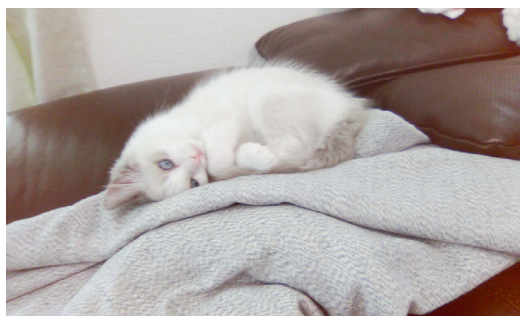
にいこう」といくら言ってもギョット抱き締めて離さない姿を見て、昔ダンボールに入っている子猫を拾って帰るたびに「返してきなさい」と言われて泣きながら返しに行った子供の頃を思い出した。「一度抱っこすると離れられないね」と店員の策略に負けた気がしながら、子猫を観察してみた。青い瞳に白い長毛種・ぬいぐるみのような見た目で美人の顔立ちで、あまり泣かない。ただなすがままに抱っこされており、湿った眼で見つめ返してくる。元気がないのでは？と店員に思い聞いてみるが「おとなしい猫種ですから」との事。お値段は3の下に0がいっぱいであり、1匹目の猫は近くの家が引っ越した時に残された猫・2匹目も雨の日に泣きながらついてきた猫と猫を買った事がなく相場は良くわからない。子猫を飼った事がないのが不安であったが、なんとなく子供のころに置いてきた子猫を連れて帰る気分で家に迎え入れる事になった。彼女は購入した季節からモモと名付けられた。私の子猫のイメージは良く鳴いて、良く遊んで、良く寝るイメージだが、彼女はマイペースな感じでゴロゴロしている。そして



1日目から問題が発生した。食事を食べず、下痢をしているのだ。購入時の体重が850gであり、食事はカリカリの餌(25g)を水でふやかして、その上に猫用ミルクと低血糖予防用の糖分・ビオフェルミンを混入と今までの成猫の何倍も手がかかるが、ほぼ食べない。2〜3口食べると止めてしまう。環境が変わったストレスか?と考えながら一日食べないと100gずつ減っていく体重を診ながら方法を検索し強制給仕という方法を見つけた。20ccの注射器でドロドロの餌を口の端から注入するのだが、息が出来ないせいか必死で飲み込もうとしてくれる。こういう事は看護婦である妻がうまいなと感心しながら、1日・2日と継続すると体重は増えないものの、減りもしない。下痢は3回以上しており、ビオフェルミンの量を増やしてみるも改善しない。購入して4日目に妻と子供は実家に3日程帰る事となった。私一人で朝は6時に起きて1時間ほどかけて規定の量を食べさせ、夜は帰ってから8時頃に食べさせる。しかし5日目で体重は800→700gに減っている。食事量が少ないか?と考え量を増やしてみるも同時に食事時間は1時間半に増加した。診療中も気が気でなく帰っては強制給仕にいそしんだ。6日目の朝に体重が600g台になっている事を確認し、これは何かしらの病気だと考え動物病院に連れて行く事となった。

色々な精査の末、入院となり主治医からはジアルジア感染ですと告げられた。旅行者下痢症で細菌性なら病原性大腸菌・カンピロバクター、寄生虫ならランブル鞭毛虫・赤痢アメーバと思い出しながら、家に帰って調べて

みた。ジアルジア症は犬・猫・人とランブル鞭毛虫の感染にて引き起こされるが、その遺伝子解析より人畜感染を引き起こす属も存在する。国立感染症研究所の人間での発生報告では2019年・53例、2018年・68例、2017年・60例であるが実数は更に多いことが予想され、犬・猫のペットショップ・繁殖所での調査では20〜30%に感染が報告されており、人間同様メトロニダゾールが特効薬である等々。2週間の入院ののちにすっかり元気になり体重も900gになって帰ってきたモモを抱いている息子に嬉しそうに説明していると、「パパはモモの病気に何をあげたの」と言われ、感染予防の為トイレ掃除を毎日いそしむのであった。



理事会報告

8.27

◎令和3年度8月定例理事会

日 時 令和3年8月27日〈金〉

午後8時～9時33分

場 所 WEB会議システム（Zoom）

協議事項

1. 臨時総会開催（Web、ハイブリッド）

入会金諸規程に関して <有田会長>
臨時総会を開催し、入会金等の額の変更
について承認を得たい。

協議の結果、了承。

日時は10月23日〈土〉午後2時から
はハイブリッド形式（WEB配信あり）
での開催とする。

おって本件に係る定款等については、
各自にて確認することとなった。

なお、前回の理事会にて、入会金の額
を減額することは決定している。

2. 下半期中央急病診療所の出務割当について

<原田理事>

資料のとおり、割当を作成した。

協議の結果、了承。

3. 敬老の日のお祝いについて <川田理事>

今年度も該当する会員に図書カードを送
付したい。

協議の結果、了承。

4. 富永クリニックの開設（9月1日付）に ついて <富永理事>

建物の建て替えのために廃止（平成30
年10月末日）していたが、このほど

9月1日付で新たに開設することとなっ
た。

5. その他

なし。

報告事項

1. 郡市区等医師会長協議会（繰上げ）

について

（8月20日〈金〉）

<有田会長>

次第は次のとおり。

▷開会

▷会長挨拶

▷連絡事項

(1) 新型コロナウイルス感染症対策の件

(2) 9月度行事・会合日程の件

▷協議

▷閉会

（詳細 略）

2. 大阪警察病院地域医療支援病院運営

委員会について

（7月29日〈木〉）

<有田会長>

次第は次のとおり。

▷院長挨拶

▷委員会委員長挨拶

▷地域医療連携センター長挨拶

▷定時報告

▷新任の挨拶

▷フリートーク（質疑応答）

（詳細 略）

3. 日本生命病院第21回開放型病院運営委員 会について

（7月31日〈土〉）

<徳田副会長>

次第は次のとおり。

▷新規登録医申請医師の承認

▷病院診療実績及び病診連携実績

▷講演会・研修会等活動

▷意見交換他

（詳細 略）

4. 大阪府医師国民健康保険組合令和3年度
第1回通常組合会（書面表決）の結果に
ついて <徳田副会長>
全議案につき承認可決決定。
(詳細 略)

5. 医療情報委員会について
(8月19日<木>) <久保田副会長>
▷開会
▷協議事項
(1) 諮問事項について
「医師会活動および医療現場における
ICT活用について
～withコロナ時代の対応を含めて～」
(2) その他
▷今後の日程
▷閉会
(詳細 略)

6. 浪速区在宅医療・介護連携推進会議につ
いて
(7月21日<水>) <藤吉副会長>
次第は次のとおり。
▷ACP（人生会議）の周知啓発について
▷今年度取組について
▷その他
(詳細 略)

7. 自立支援型ケアマネジメント検討会議に
ついて
(8月18日<水>) <藤吉副会長>
▷検討会議の趣旨について
▷守秘義務について
▷出席者の自己紹介
▷検討事例
▷まとめ
(詳細 略)

8. 医療情報委員会について
(8月19日<木>) <藤吉副会長>
▷浪速消防署より
▷令和2年度総合相談傾向について
▷振り返り事例検討
(詳細 略)

9. その他
なし。

次回理事会
令和3年9月13日<月> 午後8時～



10 月度学術講演会のお知らせ 【WEB 講演会】

10 月の浪速区医師会講演会の内容は下記のとおりです。

多数の先生方の参加をお待ちいたします。

なお、今回は WEB での開催を予定しております。ご参加希望の方は、事前に本会までメールにてお申込みいただきますようお願いいたします。

日時：令和 3 年 10 月 16 日(土)

午後 2 時～ 4 時

場所：【WEB 講習会】

演題：「2 型糖尿病治療における薬物治療

Up to date ～ツイミグへの期待～」

講師：大阪警察病院

糖尿病・内分泌・代謝内科 部長

安田 哲行 先生

共催：一般社団法人 浪速区医師会

大日本住友製薬(株)

情報提供：糖尿病用剤 ツイミグ錠 500mg

申込先：浪速区医師会

naniwakuishikai@isis.ocn.ne.jp

医師年金のおすすめ



医師には医師専用の 「医師年金」があります

医師年金 検索

<http://nenkin.med.or.jp/>

医師年金について詳しく知りたい

医師年金ホームページをご覧ください。
または、下記までお問い合わせください。
公益社団法人 日本医師会 年金・税制課
TEL：03-3942-6487 (平日 9 時半～ 17 時)

受取年金額を知りたい

医師年金ホームページでご加入時の受取年金額のシミュレーションができますのでお試しください。
＜医師年金ホームページ▶トップページ▶シミュレーション＞

日本医師会に入会したい

入会手続きは、所属医療機関のある郡市区医師会を通じて行いますので、直接お問い合わせください。

医師年金は「日本医師会会員」で、「64 歳 6 ヶ月未満」の方がご加入いただけます (お申込みは 64 歳 3 ヶ月まで)。

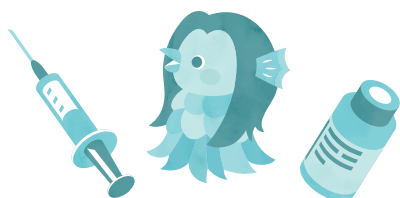
20171101S10

浪速区在宅医療・介護連携相談支援室 からのお知らせ

8月の相談件数は6件でした。COVID 疑いの方への往診医、かかりつけ医、往診歯科医の希望と介護手続きに関する相談でした。お盆前後は、長雨で気温も低く過ごしやすかったですが気温の変化が激しく体調を崩される高齢者も多く見られます。まだまだ熱中症には注意が必要です。

新型コロナウイルス感染症陽性者も急増しており、ワクチン接種済みの方でも感染対策は、十分にするようにお願いします。

在宅医療、介護において何か困ったことや問い合わせ等ありましたらご連絡ください



相談受理実績

■ 個別ケースに関する相談（R03.8月度）

① 医科	0件
② 歯科	0件
③ 薬局・薬剤師	2件
④ 病院 地域連携相談室	0件
⑤ 訪問看護	2件
⑥ 介護支援専門員	1件
⑦ 地域包括支援センター	1件
⑧ ⑥⑦以外の介護関係事業所	0件
⑨ 認知症初期集中支援チーム	0件
⑩ 他区在宅医療・介護連携支援室	0件
⑪ 区役所・保健福祉センター	0件
⑫ 区民	0件
⑬ その他（ ）	0件
合 計	6件

■ 相談内訳（重複有）

① 医 療	① 診療所・医師に関して	4件
	② 訪問診療できる医療機関に関して	4件
	③ 病院（入院・転院先等）に関して	0件
	④ 歯科に関して	0件
	⑤ 薬局・薬剤師に関して	0件
	⑥ 訪問看護に関して	0件
	⑦ 医療の手続きに関して	0件
	⑧ その他	0件
② 介 護	① ケアマネに関して	1件
	② 地域包括支援センターに関して	0件
	③ 介護事業所等に関して	0件
	④ 介護の手続きに関して	2件
	⑤ その他	0件
	③ 退院支援に関して	0件
	④ 看取りに関して	0件
	⑤ その他（内容： ）	0件
	合 計	11件

<お問合せ> 浪速区在宅医療・介護連携相談支援室
〒556-0022 大阪市浪速区桜川 4-11-16 アリタビル50B
TEL:070-1760-4964 FAX:06-6567-8058



浪速区医師会 活動の伝言板

令和3年10月の各業務の出務予定は次のとおりです。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

3歳児健康診査

●保健福祉センター

10月28日(木)午後1時40分～3時30分

小児科 川田 信哉

小児科 本田 秀明

眼科 山尾 信吾

耳鼻科 大野 聡史

1歳6ヶ月児健康診査

●保健福祉センター

10月7日(木)午後1時40分～3時30分

小児科 川田 信哉

小児科 橋村 夏野子

BCG接種

●保健福祉センター

10月21日(木) 午後2時～3時30分

本田 秀明・橋村 夏野子

急病診療所出務

●中央急病診療所

10月13日(水) 深夜22:00～30:00

山崎 雅裕



ドクターのあらゆる要望にお応えします。



大阪府医師協同組合
Osaka Medical Cooperative Association

[本部] 大阪市中央区上本町西 3-1-5 〒542-8580
TEL 06-6768-2071(代) FAX 06-6768-2012

[南部出張所] 堺市堺区甲斐町東 3-2-26 堺市医師会館 1F 〒590-0953
TEL 072-223-6081(代) FAX 072-223-5094

さまざまな事業を展開しています。

詳しくは



医 業

医療機器、医療消耗品からクリニック開業支援まで、医療に関する幅広いサポートを行っています。

- 医療用品通販カタログ「GooDs」
- 最新医療機器カタログ「ME GUIDE」
- 医療機器のリース・無金利分割販売
- 最新医療機器展示会、セミナー・実技講習会



く ら し

趣味や教養を深めるイベントから旅行、住まいのご相談まで、皆様のプライベートを応援。

- JAPAN DOCTOR'S CARD
- 書籍販売サイト「KNOWLEDGE WORKER」
- ドクターズツアー、パッケージツアーの割引特典
- イベント・各種セミナーの開催



保 険

医療とくらしを取り巻くさまざまなリスクに備え、充実のラインナップをご用意しております。万一の事態に備える保険に、団体・集団扱いの割安な掛け金でご加入できます。

- 損害保険
- 生命保険



あとがき

藤吉 理夫

コロナウイルスデルタ株による第5波の中、緊急事態宣言が9月30日まで延長されました。まだまだすっきりしません、皆さまお変わりありませんでしょうか。ワクチン接種も進み、そろそろ減少傾向に転じてきているものの若者の感染者増加、自宅療養者が増え、保健センター・医療機関とも対応に追われています。昨年の今頃、一年後にはかなり終息しているのではと楽観していましたが、より悪い状態になっています。しかし重症度別のマネジメントはある程度決まっており、さらに軽症から中等症で重症化リスクのある方に使用出来る中和抗体薬が効果があるとのこと。今後まだまだ大波小波がありそうですから油断できませんが期待できますね。

巻頭言で宇田先生の「猫と私」。息子さんより実は先生が一目惚れされていたのですね。仕事もしながらのももちゃんの看病、大変だったと思います。ジアルジア症とは初めて知りました。勉強になりました。2週間入院とはかなり重症だったのですね。元気な可愛い写真を拝見して癒やされました。

私も小学生の頃猫を飼っていましたが、その頃テレビでキャット空中3回転というのがあり、よく空中に放り投げていました。幸い猫に怪我はなかったのですが今では虐待ですね。

インフルエンザ予防接種が始まります。昨シーズンは全く流行りませんでした。今シーズンもオーストラリアではインフルエンザはほぼ流行していないとのこと。しかし抗体価が落ちないように今後に備えてワクチン接種は推奨されています。コロナワクチンと2種類の接種があると、接種間隔や打ち間違いなどに十分注意が必要です。

昨年のあとがきで、次期総理大臣は菅さんになりそうですと書いていました。菅さんはコロナ対応？で支持率低下しましたが、高齢者への接種についてはなんとか夏までに行えた、携帯電話料金を引き下げた、デジタル庁を新設などの業績があります。今回は河野さんでしょうか。FAX、印鑑をやめる ということを積極的に進めておられているので、医療、介護の書類を原本を残さなくてもデジタルで可として欲しいです。来年の診療報酬改定ではオンライン診療についてはかなり進みそうですね。どなたがなっても感染対策、経済対策しっかり納得できるものを考えて実行していただきたいです。



目 次

ページ

巻 頭 言	
猫と私	宇田 創 1
理事会報告（8月27日開催）	3
10月度学術講演会のお知らせ	5
浪速区在宅医療・	
介護連携相談支援室からのお知らせ	6
浪速区医師会活動の伝言板	7
あとがき	8

【区医だより】

発行者 有田繁広
編集者 中村泰久
印刷所 株式会社 サビ